

令和4年(2022年) 2月9日(水) 13819号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL : 06-6353-7831
 FAX : 06-6353-7832
 MAIL : metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB : https://home.nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

2021暦年圧延品生産・出荷

堅調に推移 前年比9.4%増

日本アルミニウム協会

一般社団法人日本アルミニウム協会(木村良彦会長)はさきごろ、2021暦年のアルミニウム圧延品生産・出荷概況を発表した。4年連続(圧延品出荷)で200万トンを割り込んだものの、コロナにより世界的に景気が後退した前年比ではプラス9.4%となり、圧延品全体で堅調に展開した。

板類は、自動車向けがアルミパネル材の採用増などで好調だったが、夏場以降は東南アジアでの感染再拡大に伴う部品不足や、世界的な半導体不足などによる国内自動車生産台数の減少により出荷が減少した。缶材はボトル缶がマイナス、DI缶はプラスとなった。また需要の旺盛な半導体製造装置向けの厚板を含む「その他」が前年比プラス16.2%と大幅なプラスとなった。

押出は、板同様、当初好調だった自動車が、国内自動車生産台数の減少を受け、夏場以降は減少に転じた。一方、春以降、住宅着工の回復により建設向けはプラスに転じ、出荷全体では同プラス7.3%と4年ぶりに増加した。

はくは、外出機会の減少や輸入品の流入などがあり食料品向けはマイナスとなったが、コンデンサやリチウムイオン電池など電気機械器具は好調だった。特にリチウムイオン電池向けは車載用だけでなく、コロナ対応による非接触型端末など民生用も好調だった。

主な分野の概況は次の通り(出荷量、前年同期比)

板類

- (1)缶材397,538トン、0.7%: 外出機会の減少によりボトル缶はマイナスだったが、DI缶はビール類やRTDなど家飲み需要があり、プラスとなった。
- (2)自動車196,433トン、18.9%:夏場以降は国内自動車生産台数の減少によりマイナスが続いているものの、過去最高の出荷量となった(過去最高は2019年の193,940トン)。

押出類

- (1)建設427,714トン、3.4%:住宅着工の回復により、春以降は前年比増が続き、サッシ、内外装ともプラスとなった。
- (2)自動車130,747トン、9.3%:板同様、夏場以降は自動車生産台数の減少を受けてマイナスに転じたが、年間を通じてはプラスだった。

2021年暦年のアルミニウム圧延品生産・出荷

	生産(トン)	前年同月比(%)	コメント
板類	1,165,351	10.5	4年ぶりプラス
押出類	714,957	7.7	4年ぶりプラス
板押計	1,880,308	9.4	4年ぶりプラス
箔	125,818	19.2	3年ぶりプラス
出荷(トン)			
	前年同月比(%)	コメント	
板類	1,161,043	10.8	4年ぶりプラス
押出類	723,679	7.3	4年ぶりプラス
板押計	1,884,722	9.4	4年ぶりプラス
箔	124,827	17.4	3年ぶりプラス

はく

- (1)電機機械器具72,716トン、36.3%:コンデンサはプラス24.6%、リチウムイオン電池はプラス50.3%と大幅に増加した。リチウムイオン電池向けは、自動車向けのほか非接触型決裁端末や検温装置など、民生用需要も旺盛だった。
- (2)食料品24,217トン、マイナス5.0%:外出機会の減少による需要減のほか、海外品の流入増などによりマイナスとなった。

12月は 前年同月比ほぼプラス

同時に発表された12月の生産・出荷概況では、生産は3分類いずれも前年比プラスで、はくは、14か月連続のプラス。出荷は、板類がマイナスに反転した以外はプラスだった。

板類は、生産がプラス、出荷はマイナスとなったが、ほぼ前年並み。半導体製造装置向けの厚板を含む「その他」がプラス16.9%と好調だった。

押出は、生産、出荷ともプラス。最大用途のサッシ、内外装など建設向けが増加した。

はくも、生産、出荷ともプラス。食料品は再びマイナスとなったが、電気機械器具がプラスを維持し、内需をけん引した。

銅・非鉄原料は

ホームページはこちら▶
www.kimura-metal.co.jp

木村金属株式会社
06-6552-7840


QRコード

大阪市大正区

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



1月の銅の概況及び2月の見通し (3)

予想レンジ

LMEセツル 9,500-10,500ドル ☀

建 値 109万円-125万円 ☂

為 替 110~115円 ☁ 変わらず

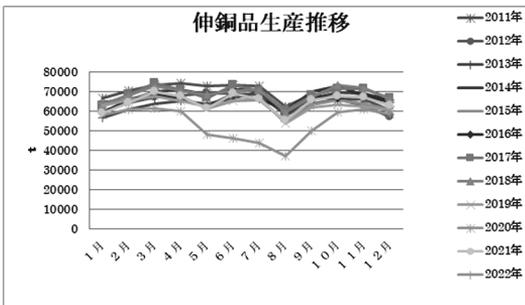
(1か月間TTM)

■前月の国内指標

【伸銅品生産】

12月伸銅品生産量は6万2,640トン、前月比7.0%減少したが、前年同月比7.2%増加した。

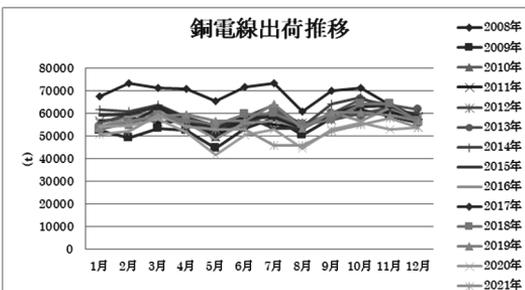
また2019年の同月より4.7%増加したが、2018年より12.6%減少した。



出典 日本伸銅協会

日本電線工業会発の出荷速報 (推定)

前年比は-0.8%の5万3,800 t。



出典 日本電線工業会

【見通し】

【自動車】

12月の自動車生産が-6.8%。1月国内販売台数が前年比-12.5%。3カ月連続生産、販売共に減少。半導体以外の中国からの部品供給の遅れからとの事。

ただ12月の生産台数の減少幅が大幅減少しており今後の回復に期待。

【伸銅品生産】

12月伸銅品生産量は6万2,640トン、前月比7.0%減

少したが、前年同月比7.2%増加した。また2019年の同月より4.7%増加したが、2018年より12.6%減少した。

前月と同様に自動車と半導体向けの生産が好調だった。住宅関連の設備機器向けの需要も好調との事。

部品調達遅れからの生産減に歯止めがかかるは注目。

【電線】

前年比-0.8%の5万5,100 t。うち、国内-0.7%輸出が-2.5%。国内輸出共に減少。今後さらに減少するか注視。

・銅輸出は電気銅、スクラップ共に内需旺盛に伴い減少。

・銅輸入は電気銅は割高感から減少、スクラップは内需旺盛から増加。

【スクラップ景況予想】

流通（一次問屋）在庫は銅建値が118万から120万と結果的に高値安定であった。

ただコロナによる生産減からのスクラップ発生減により出物が無く在庫薄。

需要面に関していまの所、前月に続き中国の部品調達の遅れからの自動車生産、販売の大幅減少傾向があるが伸銅品に関しては挽回生産に向けた在庫積み上げからか需要は旺盛。

仮に急落してもその価格での販売に躊躇する問屋も多く定期で入らないメーカーが高値買いの傾向が今月も続く。

【LME・為替予想】

今月は、①ロシア、ウクライナ情勢、②米中の金融政策の動向に関しては一触即発とも思われる報道も一部ではあるが正面切っの戦争でロシアが勝つ可能性はなく、さりとて引き下がるわけにもいかず、当面はお互いの引かない演出が続くのでは。

①に関しては、中国に関しては北京オリンピック終了後 経済再生のための生産再開金融緩和が行われるのでは。

米国に関しては、FOMCで3月に金融引き締めを行うことを示唆していること。

インフレが米市民の生活に影響が出はじめていることから引き締めは行われるのでは。

これらを踏まえた2月の銅価格は9,500-10,500ドル(セツル)との予想。

ドル円値は110円~115円(TTM)台を予測。

銅建値に関しては109万円~125万円程度と予測している。

(「1月の銅の概況及び2月の見通し」おわり)

銅・非鉄金属地金全般

株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

「アルミ缶リサイクルニュース」

158号発行 8年連続で200億缶消費 アルミ缶リサイクル協会

アルミ缶リサイクル協会(花房達也理事長)はこのほど、「アルミ缶リサイクルニュース」158号(1月号)を発行した。花房理事長の2022年挨拶や3R推進団体連絡会自主行動の報告、回収協力者表彰などを掲載している。

花房理事長の挨拶では、昨年のアルミ缶市場は夏場の天候不順が影響し、清涼飲料缶の需要は前年よりも若干減少した模様で、RTD向けが堅調だったためアルコール缶需要が微増となり、国産アルミ缶全体の年間需要は前年並みで着地したと見込まれている。これにより8年連続で年間200億缶を超える大量のアルミ缶が国内で消費されていることとなり、アルミ缶リサイクル率の維持・向上と水平リサイクルの推進に大きな責務を感じているとしている。また、2020年までにリデュース率5.5%の達成とリサイクル率90%以上の維持を目標に活動してきたが、2020年度実績はリデュース率が5.8%、リサイクル率が94%と、それぞれ目標を達成したとしている。



「アルミ缶リサイクルニュース」158号

3R推進団体連絡会8団体の第3次自主行動計画2020年度フォローアップ報告では、リデュースは8素材中6素材(ガラスびん、PETボトル、スチール缶、アルミ缶、紙製容器装、プラスチック容器包装)が2020年度目標を達成。リサイクルでは8素材中5素材(PETボトル、スチール缶、アルミ缶、プラスチック容器包装、段ボール)が同目標を達成するなどの成果がみられたとしている。

第3四半期決算

アルミ合金など前期比大幅増

純利益102.5億円

大紀アルミ

株式会社大紀アルミニウム工業所(山本隆章社長)はこのほど、2021年度第3四半期連結決算を発表した。大手需要先自動車メーカーのコロナ拡大や半導体不足の影響を受けたが、売上高は1,622億4千5百万円、同74.1%増で、経常利益が140億8千万円、同219.6%増、純利益は102億4千9百万円、同226.9%の大幅増となった。

売上高は、平均販売価格の上昇などにより、アルミニウム二次合金地金で1,100億8千8百万円、同86.2%増、商品・原料他が521億5千6百万円、同53.2%増。収益では、製品・原料の価格差(スプレッド)が順調に推移するなどした。

3月期末業績予想は、11月発表時から変更していない。

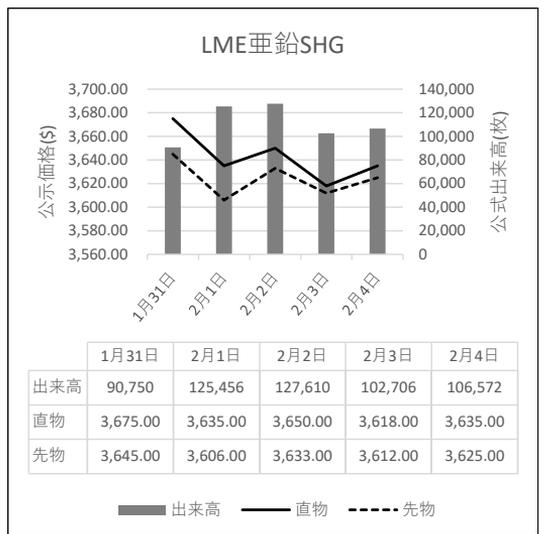
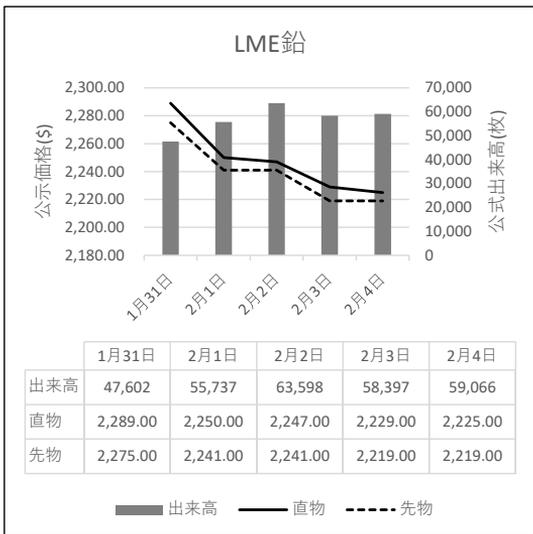
アルミニウム屑・銅・真鍮・ステンレス
各種非鉄金属屑

株式会社原田商店

代表取締役 原田 靖章

〒547-0002 大阪市平野区加美東6-14-30
TEL 06-6793-8128 FAX 06-6793-8128

LME公式値週間推移 1月31日~2月4日(現地)



故銅市況

8日朝入電の海外相場は、LME (ロンドン金属取引所) 銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の9,875.00ドルより25.00ドル安の9,850.00ドル。直物の終値は、前営業日の9,870.50ドルより63.75ドル安の9,806.75ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の9,835.00ドルより20.00ドル安の9,815.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の9,841.50ドルより64.00ドル安の9,777.50ドル。COMEX (ニューヨーク商品取引所) 銅相場の3月限は、前営業日の448.75セントより2.50セント安の446.25セント。SHFE (上海期貨交易所) 銅相場の3月限前営業日の7万0,460元より340元高の7万0,800元。

8日の東京為替市場TTSレートは、前日の116.26円より0.04円の円安ドル高、1ドル=116.30円。8日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は9,850.00ドル。この値と8日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の118万6,000円より3,000円安の118万3,000円。この日、電気銅建値は118万円に据え置かれた。

為替動向

7日、ロンドン外国為替市場の英ポンドは対ドルで横ばい。16時、前週末と同水準の1ポンド=1.3530ドル~1.3540ドルで推移していた。新規の取引材料に乏しく方向感を欠いた展開となった。ユーロも対ドルで横ばい。同じく1ユーロ=1.1440ドル~1.1450ドルで推移した。

ECBが金融政策の正常化を前倒しするとの観測から

アルミニウム二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (2月前半)

2S=245円~260円、63S=229円~255円、アルミホイール(1P)=141円~250円、ビス付サッシ=142円~146円、エンジンコロ=145円~148円、込合金(機械鋳物)=143円~146円、缶プレス(ソフト)=116円~121円。

関西地区 (2月前半)

2S=207円~210円、63S=210円~213円、印刷版=200円~203円、アルミホイール(1P)=181円~191円、ベースメタル=169円~173円、機械鋳物=116円~119円、ダライ粉=95円~98円、ビス付サッシ=113円~118円、缶プレス=103円~105円。

故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

(2月3日更新)

直納問屋筋によるロット物 (5トン前後) の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が910~915、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは875~880、並銅は840~850、込銅(高品位=約97%)は830、セパは680~685。コーペルは要り用筋で621、それ以外は606ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋631、それ以外601~611どころの値頃。並青銅鋳物削粉は735~740どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が890~910、上銅新くずが855~875、普通上銅が830~850、2号銅線が822~842、並銅が820~840、込銅(94-97%)が768、込銅(90-93%)が770、下銅が446~496、セパが645~680、コーペルが561~606、黄銅棒地が556~601、黄銅削粉が551~596、黄銅ラジが516~524、交叉ラジが479~536、黄銅鋳物が479~486、送りが262~281、上青銅鋳物が732~752、並青銅鋳物が712~727、上青銅鋳物削粉が727~747、並青銅鋳物削粉が702~722どころ。

ユーロ売りドル買いが入ったものの欧州債の利回り上昇でユーロ買いドル売りも出で、一方向に持ち高を傾ける動きは限られた。

7日のニューヨーク外国為替市場で円相場は3営業日ぶりに反発した。前週末と比べ0.10円の円高ドル安、1ドル=115.05円~115.15円で取引を終えた。前週、米国の長期金利上昇を背景に円安ドル高が進んでいたことで、週明け利益確定目的の円買いを進める動きが優勢になった。ただ、FRBは、労働市場の逼迫とインフレ懸念から早期の金融政策正常化に動くとの見方が強まっており、金利先高観から円売りも出易かった。

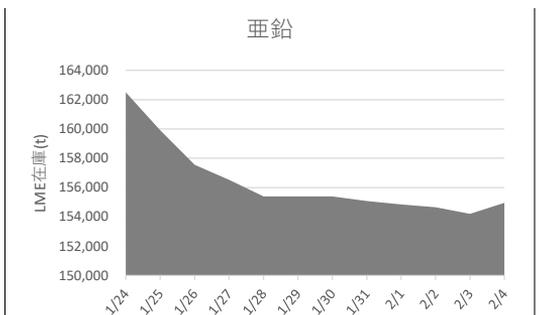
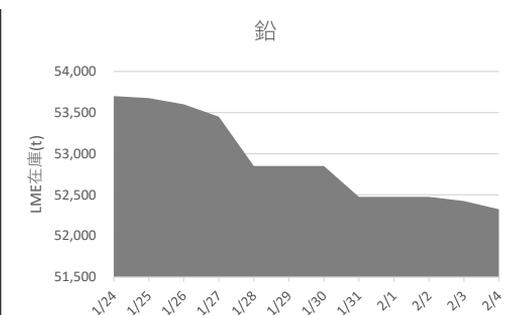
8日早朝の東京外国為替市場で円相場は上昇した。8時30分、前日17時と比べ0.19円の円高ドル安、1ドル=115.06円~115.07円で推移。米国の長期金利上昇に一服感が出たことで、円買いドル売りが先行した。円は対ユーロでも上昇。同じく0.16円の円高ユーロ安、1ユーロ=131.60円~131.63円だった。

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>



LME認定倉庫在庫量推移 1月24日~2月4日(現地)





LME銅相場は反落 前週は約2%高で推移
 COMEX銅相場も反落 SHFE銅相場は上伸
 LME非鉄相場は概して軟化 続伸で約3%高
 ウクライナ情勢も供給に影響の可能性



8日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、2月5日入電の9,875.00ドルより25.00ドル安の9,850.00ドル。反落して0.25%安。この週0.25%の下落。2月に入って1.78%の上伸。3か月物の前場売値は、2月5日入電の9,835.00ドルより20.00ドル安の9,815.00ドル。反落して0.20%安。この週0.20%の下落。2月に入って2.01%の上伸。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地2月4日の8万2,225トンより2,200トン減の8万0,025トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、2月限が、2月5日入電の448.35セントより2.20セント安の446.15セント。反落して0.49%安。この週0.49%の下落。2月に入って3.68%の上伸。中心限月に当たる3月限は、2月5日入電の448.75セントより2.50セント安の446.25セント。反落して0.56%安。この週0.56%の下落。2月に入って3.54%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、2月限が、1月28日入電の7万0,450元より340元高の7万0,790元。4営業日の続伸で0.48%高。この週0.48%の上伸。2月に入って0.48%の上伸。中心限月に当たる3月限は、1月28日入電の7万0,460元より340元高の7万0,800元。反落して0.48%高。この週0.48%の上伸。2月に入って0.48%の上伸。

錫は続落

LME錫相場の前場売値は、直物が、2月5日入電の4万3,375.00ドルより125.00ドル安の4万3,250.00ドル。3営業日の続落で1.14%安。この週0.29%の下落。2月に入って1.88%の上伸。3か月物の前場売値は、2月5日入電の4万3,025.00ドルより170.00ドル安の4万2,855.00ドル。3営業日の続落で1.03%安。この週0.40%の下落。2月に入って2.65%の上伸。

LME公認倉庫の錫在庫は現地2月4日の2,470トンより40トン減の2,430トン。

鉛は下落

LME鉛相場の前場売値は、直物が、2月5日入電の2,225.00ドルより26.00ドル安の2,199.00ドル。8営業日の続落で7.06%安。この週1.17%の下落。2月に入って4.47%の下落。3か月物の前場売値は、2月5日入電の2,219.00ドルより25.00ドル安の2,194.00ドル。下落して1.13%安。この週1.13%の下落。2月に入って3.98%の下落。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地2月4日の5万2,325トンより225トン増の5万2,550トン。

亜鉛は反落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、2月5日入電の3,635.00ドルより12.00ドル安の3,623.00ドル。反落して0.33%安。この週0.33%の下落。2月に入って0.58%の下落。3か月物の前場売値は、2月5日入電の3,625.00ドルより9.00ドル安の3,616.00ドル。反落して0.25%安。この週0.25%の下落。2月に入って0.03%の下落。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地2月4日の15万4,950トンより625トン減の15万4,325トン。

アルミは続伸 アルミ合金は横ばい 北米特殊は下落

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、2月5日入電の3,087.00ドルより61.00ドル高の3,148.00ドル。3営業日の続伸で3.45%高。この週1.98%の上伸。2月に入って1.22%の上伸。3か月物の前場売値は、2月5日入電の3,065.00ドルより46.00ドル高の3,111.00ドル。3営業日の続伸で2.74%高。この週1.50%の上伸。2月に入って0.83%の上伸。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地2月4日の77万5,475トンより7万7,225トン減の76万8,250トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、2月5日入電より横ばいの2,540.00ドル。この週横ばい。2月に入って1.80%の上伸。3か月物の前場売値は、2月5日入電より横ばいの2,550.00ドル。この週横ばい。2月に入って2.20%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、2月5日入電の2,872.00ドルより72.00ドル安の2,800.00ドル。下落して2.51%安。この週2.51%の下落。2月に入って2.57%の下落。3か月物の前場売値は、2月5日入電の2,862.00ドルより72.00ドル安の2,790.00ドル。下落して2.52%安。この週2.52%の下落。2月に入って2.52%の下落。

ニッケルは続伸

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、2月5日入電の2万3,475.00ドルより175.00ドル高の2万3,650.00ドル。2営業日の続伸で1.83%高。この週0.75%の上伸。2月に入って3.96%の上伸。3か月物の前場売値は、2月5日入電の2万2,975.00ドルより275.00ドル高の2万3,250.00ドル。2営業日の続伸で2.20%高。この週1.20%の上伸。2月に入って4.56%の上伸。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地2月4日の8万7,504トンより492トン減の8万7,012トン。

LME公示価格(US\$)／2月7日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	9,850.00	43,250.00	2,199.00	3,623.00	3,148.00	2,540.00	2,800.00	23,650.00
	前営業日比	▲ 25.00	▲ 125.00	▲ 26.00	▲ 12.00	61.00	0.00	▲ 72.00	175.00
先物	公示価格	9,815.00	42,855.00	2,194.00	3,616.00	3,111.00	2,550.00	2,790.00	23,250.00
	前営業日比	▲ 20.00	▲ 170.00	▲ 25.00	▲ 9.00	46.00	0.00	▲ 72.00	275.00

海外非鉄金属相場

(2月8日 入電・現地 2月7日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル) and rows for current prices, previous day, and high/low prices.

Table for NY Comex market (NY コメックス相場) showing prices for Gold, Silver, Platinum, and Palladium over various time periods.

Table for LME (LME (円ベース/キロ)) showing prices for Copper, Tin, Lead, Zinc, Aluminum, and Nickel.

Table for Free Market (フリー・マーケット) showing prices for US Producer Prices (米国生産者価格) for Silver.

Table for NY Market (NY相場) showing prices for Copper and Tin.

Table for London Market (ロンドン相場) showing prices for various metals like Antimony, Bismuth, Cadmium, etc.

Table for KLTM Tin (KLTM錫) showing prices in MYR/KG and current stock levels.

Table for LME Stock (LME在庫) showing current stock levels for Copper, Tin, Lead, Zinc, Aluminum, and Nickel.

Table for Shanghai Stock (上海在庫) showing current stock levels for Copper, Aluminum, Zinc, and Nickel.

Table for LME Pre-market (LMEプレマーケット) showing prices for Copper, Tin, Lead, and Aluminum.

Table for Shanghai Market (上海相場) showing prices for Copper, Aluminum, Zinc, Lead, and Nickel.

Table for Procurement Prices (採算価格) showing prices for various metals in different units and locations like COMEX and Shanghai.

非鉄金属製品相場

(2月8日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1450	1390	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	1500	1440	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 52~54
銅大板2×1×2	1580	1590	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 93~96
銅管(ベース)	1600	1570	鉛板1.5ミリ	560	560	3C×1.6 96~99
水道用管(m当たり)13ミリ	1510	1495	鉛線3ミリ	460	460	3C×2.0 143~146
銅棒25ミリ	1380	1380	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1420	1410	アルミ箔0.007ミリ	1075	1035	1.6mm 29.8~31.7
銅線0.9ミリ	1470	1450	〃 小板1ミリ	710	665	5.5sq 81.3~86.4
銅帯6×50	1400	1390	〃 大板1ミリ	690	655	14sq 203~216
銅平角線	1670	1620	〃 5052板	745	705	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1195	1170	〃 5083板	760	720	600V 3C×38 1543~1640
〃 0.3ミリ	1225	1200	〃 2017板	1200	1265	600V 3C×60 2372~2522
黄銅大板2×1×2	1345	1350	〃 線3ミリ	725	655	600V 3C×100 3986~4237
黄銅管	1715	1630	〃 快削棒50ミリ	910	870	6kV 3C×38 2522~2676
復水器用黄銅管	1685	1600	〃 合金棒50ミリ(17S)	895	850	6kV 3C×60 3507~3721
黄銅棒快削25ミリ	995	1000	〃 合金棒50ミリ(56S)	850	810	CVV (関西-関東)
六角棒	1025	1030	貴金属(一般小口向け)			3C×2 123-126
四角棒	1055	1060	白金(グラム)		◆ 4243	4C×2 164-168
鍛造用	1035	1040	パラジウム(グラム)		◆ 9449	6C×2 234-239
ネーパル	1135	1140	金(グラム)		◎ 7473	7C×2 267-274
高力	1135	1140	銀(キログラム)		◎ 97130	合金鉄 12月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1400	1380	レアメタル輸入価格 12月通関 (CIF)			フェロマンガン2%以上炭素含有 193
黄銅平角線ロール仕上	1600	1590	金属ケイ素(99.99%未満)		723	〃 その他 324.1
黄銅条1.5×100	1195	1190	モリブデン酸化物		3261	フェロシリコン55%以上 316
リン青銅板一般用1.0ミリ	2810	2970	タンタル		55322	フェロクロム4%以上炭素含有 207.7
〃 バネ用0.3ミリ	3090	3250	マグネシウム		612	フェロモリブデン純分60%以上 3040
リン青銅棒25ミリ	2910	3090	コバルト		6881	フェロバナジウム 2927
リン青銅線3ミリ	3280	3450	インジウム		28447	フェロニッケル33%未満 449.1
洋白板一般用1.0ミリ	3520	3560				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3650	3690				

減摩合金	2月1日改定	銅合金地金	2月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	5705	BC 1種	1200
2種	5515	2種	1560
3種	5325	3種	1655
4種	4655	6種	1335
5種	4490	7種	1435
7種	1430	YBSC 3種	1060
8種	1200	LBC 3種	1595
9種	1035	PBC 2種	1685



非鉄金属材料相場

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(2月8日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		39,000 ~ 42,000(1)	
	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	高値	安値
山元建値					電気銅	1180(3)	金	6,780(8)
() 実施日					電気鉛	315(7)	銀	86,760(8)
					電気亜鉛	472(7)	錫(99.99%)	6,300(1)
1トン以上外税持込								
非鉄原料 (炉前材)								
1号銅線	1046	1041	電 気 銅	◆ 1151	◆ 1146	◆ 1153	◆ 1148	
2号銅線	994	—	電 気 亜 鉛	454	448	454	448	
上銅 (新切)	1023	1006	蒸 留 亜 鉛	442	436	442	436	
雑ナゲット	867	872	再生ダイカスト亜鉛2種	373	367	373	367	
並銅	946	939	再 生 亜 鉛 (98%)	326	320	326	320	
下銅	924	912	電 気 鉛	292	289	291	288	
銅削粉	926	915	再 生 鉛 1 号	283	273	279	274	
銅さい (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	288	284	284	280	
新切黄銅セバ	794	796	錫 1 号	5200	5150	5200	5150	
コーベル	759	754	ア ン チ モ ン	1700	1650	1700	1650	
黄銅棒地	741	742	ニッケル(メッキ用)	2800	2750	2800	2750	
黄銅削粉	735	738	コ バ ル ト	9700	9400	9700	9400	
並黄銅	669	657	セ レ ニ ウ ム	3300	3100	3300	3100	
黄銅ラジエター	594	574	ビ ス マ ス	1250	1150	1250	1150	
交叉ラジエター	619	615	カ ド ミ ウ ム	500	450	500	450	
黄銅鑄物	674	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	600	580	600	580	
山送り (55%)	375	—	アルミ地金 99.70 %	◎ 408	◎ 404	◎ 410	◎ 406	
上青銅鑄物	815	—	アルミ二次地金 99 %	322	317	322	317	
並青銅鑄物	813	804	〃 90 %	276	271	276	271	
上青銅鑄物削粉	808	—	アルミ二次合金ADC12	451	446	454	449	
並青銅鑄物削粉	798	792	鑄 物 用 C2BS	476	471	478	473	
新切リン青銅(伸銅)	—	1057	青銅合金地金 3種	1585	1575	1595	1585	
〃 (鑄物)	936	—	〃 6種	1275	1265	1240	1230	
リン青銅削粉	849	841	ハ ン ダ 錫 60 %	3845	3805	3865	3835	
新切洋白(電子材)	857	844	〃 50 %	3305	3255	3325	3295	
新切亜鉛	178	178	〃 40 %	2830	2770	2785	2755	
ダイカストくず	143	143	減 摩 合 金 2 種	5505	5475	5510	5480	
亜鉛ドロス	121	132	〃 4 種	4625	4600	4630	4600	
上鉛	106	104	〃 7 種	1385	1335	1385	1335	
電池素鉛ケース込	20	20	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		135	135	
活字鉛	91	88		〃 ダライ粉		120	120	
新切アルミ1級	237	234		高耐食ステンレスSUS316		230	230	
新切サッシ1級	237	232		耐熱ステンレスSUS310		275	275	
新切合金1級	227	222		13クローム 新切		30	28	
機械鑄物1級	132	125		ハイス 9種		210	210	
ビス付サッシP	156	150						
合金削粉P	95	99						
込ガラP	90	82						
カン・バラ	142	136						

非鉄金属材料相場面

PW:KINZOKU2202